

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 610603	里道整備事業				主管課名	都市整備課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域				課長名	野々山久照				
		施策	誰もが安心して出かけられるまち									
		基本事業	生活道路の整備									
	(1)事業の概要											
	行政区管理の里道を分担金を徴収し、整備を行う。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
	大規模集落 10%						名称					
	大規模集落以外 20%						対象行政区					
							その指標					
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
26年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容		地元区長と施工箇所の確認 設計書作成 分担金徴収事務 工事発注 現場監督 完了検査 分 担金徴収事務 支払い事務						
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
利用する市民						名称						
						市民						
						単位						
						人						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
道路整備やカーブミラー等の設置を行い生活道路の利用、利便を向上する。						名称						
						発注件数						
						単位						
						件						
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
誰もが安心して出かけられ、移動が円滑にできるための道路整備を推進する。						名称						
						歩道付道路の整備率(済延長/計画延長)						
						単位						
						%						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		行政区	5	4	2	5	5	5				
(6)の対象指標		人	59,141	59,474	60,200	60,800	61,400	62,000				
(7)の成果指標		件	8	4	2	10	10	10				
(8)の結果の成果指標		%	86	88	88	88.4	88.9	89.3				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	02	目	03
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	12,449	10,430	14,500	17,000	5,000	5,000				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	1,245	1,043	1,450	1,700	500	500				
	一般財源	千円	11,204	9,387	13,050	15,300	4,500	4,500				
人件費B		千円	1,131	1,113	1,113	1,113	1,113	1,113				
正職員従事時間×人数		時間×人	100×3	150×2	150×2	150×2	150×2	150×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円	70	69								
トータルコストA+B+C		千円	13,650	11,612	15,613	18,113	6,113	6,113				
単位あたりコスト		千円/人	0	0	0	0	0	0				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 610603 里道整備事業	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和56年 から	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 生活道路の整備を地元行政区で行っていたが、発注方法、施工方法等において地元管理が難しくなったため、負担金を徴収して市で施工することになった	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化した内容	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	みよし市生活環境整備事業分担金の徴収に関する条例 生活環境整備事業の経費の一部を関係受益者より負担金を徴収し整備を行う
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない →	理由又は内容	地元行政区負担には限りがある。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	今後とも地元行政区要望に合わせ改良・整備を行うことにより生活環境の向上を図る。					